

青函市町連くらべ  
 大規模町会が多い函館市

項目	青森市町連	函館市町連
町会数	340	141
町連未加入町会数	0	11
世帯数	87,234	106,812
町連予算額	6,997,899円	10,958,633
1町会当り平均世帯数	256	757
最大・最小町会世帯数	1,650 — 6	4,866 — 40
理事・役員数	65	35
事務局職員数	局長外 1名	局長外 4名
町会街灯数	19,583灯	26,000灯
町連への分担金	一世帯 40円	一世帯 45円 外組織割 4,000円
広報紙	年間 12回	年間 3~4回
市よりの補助金	市町連へ	事務委託費 3,400,000円
	単位町会へ	コミュニティ助成金 17,663,000円
	電気料補助	54,680,075円
	街灯設置費補助	0円
		3,750,000円
		一世帯 300円外組織割 46,161,400円
		72,087,428円
		25,807,218円

その他

○函館市の街灯修理費補助はないが、新設費に対しては、百ワットまでは、経費の八〇%、百ワット以上は五〇%で、一万五千元が限度  
 ○電気料に対する補助は、支払料金の五〇%（半額）である。  
 ○函館市町連の広報紙「住みよい町」は、市社協との合同紙で、このため市社協より年額四十五万円の補助をうけている。

一口伝言板

- ゴミ看板ができました。
- 品切れ中の看板入荷、製作費一枚五五〇円ですが、当会より一枚二〇〇円助成し、町会へは一枚三五〇円で配布します。
- 献花ポスター入荷
- 献花ポスターは一枚二五〇円、葬祭の合理化にご利用ください。
- 一月中の発送予定文書
- ・町内交通事故防止コンクール募集要項
- ・街灯電気料補助申請書、電気料内訳明細書
- ・優良町会員推せん書・事務局だより

墓碑銘

故、里見町会長葛西謙次郎殿（七十五才）  
 暮れの十一月三十日死去、十二月三日葬儀（会場幸畑福祉館）  
 現職時代は、五所川原市旧松島村で教育委員長、助役、村長など歴任、地方自治への功労顕著なものがあつた。青森市へ転任後は町会長、第二十九地区社協会長に就任、その後病を得て、県病へ入院、四十五日の闘病生活もその甲斐なく、胃病で再起をはばまれた。つつしんでご冥福を祈ります。（合掌）

地区連合町会長異動

五十八年十一月十五日付、西部第三区連合町会長、故嶋幸一氏の後任として、南千刈町会長高橋正雄氏が推せんされた。

冬期休みのゴミ収集場所

冬期間のゴミ収集所については、例年一部休業しているが、関連する町会は、一〇八町会にわたり、閉鎖の収集場所は、二八ヶ所である。期間は

昭和五十八年十二月一日から  
 昭和五十九年三月三十一日まで  
 なお、閉鎖の収集場所は、該当町会へ通知済みの等である。

交通災害共済への加入を促進しよう。

のび悩む青森市

	(加入人員)	(加入率)	(受給者人員)
青森市	九〇、四七五人	三一・四五%	五六六八
弘前市	八三、〇二三人	四七・三五%	四三六八
八戸市	九五、一九五人	三九・九六%	二七八八
十和田市	三四、五四二人	五八・六四%	二二六八
黒石市	二六、一六九人	六四・二六%	一三八八
三沢市	二二、〇〇四人	五五・〇四%	七二八

青森市の加入町会は、八三町会で、町会数の三分の一に満たない。今後、町会単位の加入がすすめば、かなり向上することが予想される。町会単位にとりまとめた場合、次のような得点がある。

- (一) 団体とりまとめ奨励金  
 二十人以上の会費を一括とりまとめて納付した時は、加入者一人当り二十円の団体奨励金を町会に交付する。
- (二) さらに、団体取りまとめ報償金として  
 町会できりまとめた加入者数が、町会の世帯数を上まわった場合、又は、町会できりまとめた加入者数が一〇〇人以上の場合は、団体報償金二、〇〇〇円を町会に交付する。  
 一〇〇人以下の場合、報償金は一、〇〇〇円になる。
- なお、世帯数は、町会連合会へ届出た世帯数を基準とする。
- (三) 旅費実費支給  
 会費納付に要した市役所までの往復の交通費については、一回限り実費支給とする。

(参考事例)

〇〇町会 世帯数 350 加入者 300人  
 20円×300人=6,000円(団体奨励金)  
 6,000円+2,000円=8,000円(交付額)  
 2,000円は団体報償金

元朝やコメ海風にさからわず

新しき年を迎え

皆様のご健勝をお祈り申し上げます

